２０２６年度 第２回企業倫理委員会　次第

日　　時　：　２０２６年１０月１日（木）１０時００分～１２時００分

場　　所　：　中国電力株式会社　本社１号館１２階　特別会議室

議事次第　：

内容	掲載資料	担当
委員長あいさつ	―	芦谷委員長
１．不適切事案に係る対応状況について	Ｐ３	ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門
【　議　論　】		
２．コンプライアンス推進施策の主な実施内容について	Ｐ３	ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門
【　議　論　】		
３．経営リスク情報の報告・管理状況について	Ｐ５	ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門
【　議　論　】		
４．内部通報制度の運用状況について （２０２６年６月～２０２６年８月）	Ｐ５	ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ・ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部門
【　議　論　】		

以　上

２０２６年度 第２回企業倫理委員会　委員等一覧

委員長	芦 谷　　茂	代表取締役会長
副委員長	和　田　雅　樹	弁護士
副委員長 （兼.幹事）	高　見　和　徳	常務執行役員（コンプライアンス・リスクマネジメント部門長）
委　員	磯　村　定　夫	中国地域ニュービジネス協議会　参与
〃	松　浦　秀　子	日新運輸工業㈱　代表取締役社長
〃	中　川　賢　剛	代表取締役社長執行役員
〃	皆　本　恭　介	代表取締役副社長執行役員（コンプライアンス・リスクマネジメント部門　統轄）
〃	中　嶋　謙　二	中国電力労働組合執行委員長
オブザーバー	藤　本　圭　子	取締役監査等委員
説明者	松　谷　洋　志	コンプライアンス・リスクマネジメント部門コンプライアンス推進部長

１．不適切事案に係る対応状況について

エネルギー営業本部において発生した不適切事案に係る対応状況および「営業業務全般に係る要則・運用の総点検」の実施状況について報告する。

２．コンプライアンス推進施策の主な実施内容について（前回委員会以降の主な取り組み）

（１）法令遵守に関する教育の実施（７～９月）

研修名	対象者	実施時期
景品表示法・特定商取引法に関する研修	広告表示等に係る業務担当者	７月２２日
独占禁止法に関する研修	役員・関係箇所の管理職等	７月２８日
行為規制に係る教育	役員・社員	７～８月
個人情報保護に係る教育	役員・社員	９月

（２）エネルギアグループ　コンプライアンス特別研修（７月）

当社・グループ会社の役員などを対象に、会長訓示および社外講師による講演を実施（オンラインと集合を組み合わせたハイブリッド型で実施）。

①　会長訓示

- ✓　事業環境の変化に適切に対応するためには、グループ各社が抱える課題を共有し、グループ全体で迅速に課題解決に取り組むことが重要である。
- ✓　当社グループの強みである「エネルギア」の企業ブランド力を最大限発揮するためには、ステークホルダーの皆さまから絶対的な信頼を得ることが不可欠。そして、社会からの要請を踏まえたコンプライアンスの実践と、それをけん引する経営陣の強いリーダーシップが重要である。

②　社外講師講演

【講師】

秋山　進 氏（プリンシプル・コンサルティング・グループ株式会社代表取締役）

【概要】

- ✓　不祥事は、組織の状況・文化・習慣の中で、判断の誤りが積み重なることで発生する。そのため、経営・制度・現場の各面から改革・改善を講じることが重要。
- ✓　グループ企業の失敗は親会社の失敗でもある。新規事業では、専門家の知見を活用し、ブラックボックスを作らず、資金の流れを適切に管理することが重要。

✓　経営幹部に求められるのは、心理的安全性が高い職場づくりと、目先の損失回避にとらわれない適切な意思決定。

（３）階層別コンプライアンス研修（８～９月）

新任ライン管理職等を対象として、オンラインによる研修を開催。

【実施日】８月１９日、８月２４日、９月４日、９月１０日、９月１６日
（５回に分けて実施）
【受講者】中国電力９０名、中国電力ネットワーク６６名、グループ会社７４名
【講　師】次田　昌弘　氏（株式会社ＲＥＳＱＯＭ代表取締役）
【概　要】ライン管理職としての必須知識と心得について再確認することで、職場のマネジメントに活かし、不祥事予防の一助とする。

（４）コンプライアンスガイドラインの改訂（９月）

社会情勢の変化等を踏まえた年１回の定期見直しおよび組織再編に伴う見直しを反映し、コンプライアンスガイドラインを改訂するとともに、その内容を全社員へ周知。

（５）グループ会社の取り組みに対する支援・フォロー（８月）

規模の大きいグループ会社４社のうちの１社（エネコム）に加え、個別に選定したグループ会社１社（エネルギア・ソリューション・アンド・サービス）と、コンプライアンス推進やリスク管理に係る取り組みの運用状況や課題等について意見交換を実施。

今後、その他の規模の大きいグループ会社（中国電力ネットワーク、中電工、中電プラント）のほか、個別に選定したグループ会社３社（アドプレックス、エネルギア・スマイル、中国電気保安協会）への訪問を予定。

（６）職場実態・社員意識調査の実施（８月）

職場のコミュニケーションや社員のコンプライアンス意識等の現状および課題等を把握するとともに、より良い職場づくりに向けた取り組みにつなげることを目的として、全社員を対象とした意識調査を実施。

（７）エネルギアグループ　コンプライアンス・リスク管理責任者会議の開催（９月）

グループ各社の責任者に対するコンプライアンス推進・リスク管理の取り組み等について働きかけを行うとともに、至近の情勢について情報共有。

（実施内容）
✓　公益通報者保護法の改正を踏まえた当社の対応について
✓　当社グループで発生した不適切事案の共有

（８）企業文化の変革に係る取り組み（７月、９月）

「コーポレートカルチャー変革推進会議」について、２０２６年度第２回（７月２２日）および２０２６年度第３回（９月１４日）を開催。

（９）「内部統制強化委員会」の開催（９月）

２０２６年度第２回（９月９日）を開催。当社の内部統制強化の取り組み状況等を説明し、評価・助言を得た。

(10) コンプライアンス強調月間の実施（１１月）

コンプライアンスに対する社員意識の喚起等を目的に、会長メッセージの伝達や職場話合いなどの諸施策を実施予定。

３．経営リスク情報の報告・管理状況について

報告された事案については、危機管理責任者（コンプライアンス・リスクマネジメント部門長）に報告するとともに、内容に応じて関係箇所への情報共有および対応状況の確認を行った。

【経営リスク情報の受付状況（６月２５日～８月３１日)】

・受付件数：４４件

・重大事案：１件

４．内部通報制度の運用状況について

２０２６年６月～８月の間に、相談窓口に６件（昨年同期１６件）の通報・相談が寄せられた。いずれの事案についても必要に応じて事実調査等を行い、顕名による通報・相談者には結果を連絡するなど対応した。

社内・社外別　通報・相談件数　（件）

	６月	７月	８月	計
社内窓口	１（０）	２（２）	２（０）	５（２）
社外窓口	１（０）	０（０）	０（０）	１（０）
計	２（０）	２（２）	２（０）	６（２）

（　）はグループ会社等に関する受付件数を再掲

顕名・匿名別　通報・相談件数　（件）

	６月	７月	８月	計
顕　名	２（０）	１（１）	２（０）	５（１）
匿　名	０（０）	１（１）	０（０）	１（１）
計	２（０）	２（２）	２（０）	６（２）

（　）はグループ会社等に関する受付件数を再掲